

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター



高尾山のいきものたち

ウグイス (ウグイス科)



おなじみの「ホーホケキョ」とさえずる鳥。声は聞こえても草藪や木の葉に隠れていて姿を見せることは少ない。体長は14~16 cmで、背中が緑灰褐色、腹面は白色、目の上に白っぽい帯がある。平地から山地の藪や笹が茂った林に棲み、昆虫やクモ類、植物の果実などを食べる。

繁殖期は3~7月で、一夫多妻。雄は縄張りをつくり、巣作りや抱卵、育雛は雌のみで行う。雄はひたすらさえずり、雌にアピールし、他の雄に対して縄張りを主張し、また、雌に対して雛へ餌を運ぶ際の安全を知らせている。さえずるために春には喉付近の筋肉が発達し、太ってくる。雛が天敵に狙われることも多いなかで、たくさんの子孫を残そうと一生懸命さえずり続けている鳥だ。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

富ちゃん 皿ちゃんの

NO.80



エゴノキ (エゴノキ科)

落葉小高木で、全国の雑木林に多く見られます。高尾山にも自生しています。

名前の由来は、果実を口に入れると「えぐい」ことに由来していると云われています。

花は初夏に、房状で芳香がある白い花を下向きに咲かせ、蜜源植物としても利用される場合があります。果実は卵球形で、大きい種子を1個含み、果皮に有毒なエゴサポニンを多く含むため、石鹸や、魚毒性もあるので魚の捕獲に使っていたようです。

材質は、色は白っぽく、木理は通直、やや重硬な木材で、用途は、和傘や算盤の玉、将棋の駒、木櫛など道具、器具などによく使われています。また、エゴノキの炭はガラス器や漆器の研磨につかわれます。特に、和傘の開閉に必要な不可欠な部品の「傘ロクロ」はエゴノキでないとだめだとも言われています。

ちなみに、現在「傘ロクロ」を生産している木工所は、全国で一カ所しかないそうです。(皿)



「職員のスキルアップ」等 勉強会を開催！

皆さんは、他の人に対し物事を説明する際にうまく伝わらなかった経験はないでしょうか。また、展示物などを見て何を伝えたいのかよく分からないと感じた経験はないでしょうか。

当センターでは、イベント参加者や来館者に対し説明する機会が多い職員のスキルアップなどを図るため、3月5日（火）と12日（火）の2日間にわたり専門の講師をお招きして勉強会を開催しました。当日は職員やボランティアスタッフなど15名のほか、職場内オンライン配信により関東森林管理局管内の一部職員にも共有されました。

講師は、自然体験プログラムの企画・実施などを行っている株式会社自然教育研究センターの「インタープリター」の方です。インタープリターとは「解説員」ともいわれています。また、参加者に対し自然・文化・歴史などを分かりやすく伝え、自然とのふれあひを通じて喜びや感動を分かち合う「解説活動」のことを「インタープリテーション」といいます。

初日は、「体験から学ぶ」「互いに学ぶ」「楽しく学ぶ」を軸に、インタープリテーションの定義から始まり、「聞き手の惹きつけ方」「ストーリーの在り方」「分かりやすい表現の仕方」「知る楽しさ」「好奇心の喚起」など多岐にわたりました。これらを踏まえ、プログラム作成の演習やフィードバックなどを行いました。

2日目の後半には、現在展示室内にある森林・林業に関する展示物などを基に、来館者に対し内容を分かりやすく理解してもらうためには、どのような見直しが必要なのか各々の考えを提案し合いディスカッションを行いました。意見には、「掲示物と見る人の距離感を一定にするべき」「古い情報を更新すべき」「触れる木製品の展示をすべき」「解説文を分かりやすく改善すべき」「説明文を二次元バーコード化すべき」「動画を常時上映すべき」など多くの多様な意見が出されました。

今回の学びを参考に、イベントや展示室の様態替えなどを通じて、参加者や来館者の皆様が森林・林業について分かりやすく理解していただけるよう努めてまいります。（久）



（講義の様子）

森林教室 調布市立 飛田給小学校

真冬並みの寒さとなった3月7日（木）に調布市立飛田給小学校5年生62名の森林教室を実施しました。

今回が、今年度最後の森林教室です。午前中は、6班に分かれての森林観察。時期が時期だけに、花や種（ひっつき虫）、木の葉などを見たり、触ったり、匂いをかいだり、みんなが楽しめるものが少なくて残念でしたが、森林の働きや林業について、実際に目で見ながら多くのことを学べたのではないかと思います。

午後は、森林学習と丸太切りを2班に分かれ交互に実施しました。学習では、森林の働きや地球温暖化について学び、丸太切りでは、ノコを上手に使い、ヒノキの輪切りを3枚4枚と切り落とし、中には我々でも切れないような1、2ミリの超薄切りに成功する児童が数名いてびっくりしました。

飛田給小学校は、今回が初めての森林教室参加でしたが、みんな元気がよく、普段できない体験に満足してくれたようで、閉校式では、児童代表から「特別な体験ができて楽しかった。今日学んだことを生かし、自然を大切に、自然とかかわりながら生活していきたい」の感想が述べられました。また、帰り際に、ひとりの児童から、「とても楽しかった。もう一度来たい。今は一人では来れないから残念です。でも、いつかまた絶対に来たいです」と話しかけられ、なぜかうれしく、とても気持ちのいい今年度最後の森林教室となりました。（谷）



令和6年度森林ふれあい推進事業決定

令和6年度森林ふれあい推進事業の実施にあたり、関東森林管理局長と協定を締結しイベントを開催していただく4団体とイベント内容を次の通り決定致しました。参加ご希望の方は各実施団体宛に直接お申し込みください。
また、高尾森林ふれあい推進センターHPの募集要項も併せてご覧ください。

令和6年度森林ふれあい推進事業イベント実施団体実施計画表

1. 森林インストラクター東京会 会長 宮入 芳雄

イベント名	実施月日	申込期限	募集定員・応募方法
①「春の香りに誘われて」スミレやフタバアオイがひっそり咲く日影沢へ	4/9 (火)	3/29 (金)	40名【メール】【往復ハガキ】
②春の高尾主稜縦走～爽やかな新緑の中、陣馬山から高尾山へ～	5/8 (水)	4/24 (水)	20名(健脚向き)【メール】【往復ハガキ】
③風薫る景信山・小仏城山を訪ねて相模湖へ	5/23 (木)	5/9 (木)	40名(健脚向き)【メール】【HP】【QR】
④高尾山 初夏の親子自然観察会	5/26 (日)	5/10 (金)	30名(親子)【メール】【HP】【QR】
⑤セッコクと初夏の草花を訪ねて	5/28 (火)	5/14 (火)	40名【メール】【HP】【QR】
⑥初夏の奥高尾 静寂の林道ハイキング	6/8 (土)	5/24 (金)	40名【メール】【往復ハガキ】
⑦高尾山の樹木を楽しむハイキング	6/28 (金)	6/14 (金)	40名【メール】【HP】【QR】
⑧小下沢の渓流ジャブジャブ歩き	7/21 (日)	7/5 (金)	40名(親子)【メール】【往復ハガキ】【HP】【QR】
⑨大垂水畔から♪秋の花を探そう*爽やかハイキング	9/24 (火)	9/10 (火)	40名【メール】【HP】【QR】
⑩高尾山の隠れた魅力、林道歩きを楽しむ!	10/4 (金)	9/20 (金)	40名【メール】【HP】【QR】
⑪高尾山 秋の親子自然観察会	10/27 (日)	10/11 (金)	30名(親子)【メール】【HP】【QR】
⑫高尾山の寺社林を歩いて四国遍路を体感～八十八峠・空海像巡り～	11/12 (火)	10/29 (火)	40名(健脚向き)【メール】【往復ハガキ】【HP】【QR】
⑬もう一つの高尾・南高尾山稜を訪ねる	11/22 (金)	11/8 (金)	40名(健脚向き)【メール】【往復ハガキ】【HP】【QR】
⑭晩秋の高尾山 色づいた木々やムササビの飛翔を観察するハイキング	11/30 (土)	11/15 (金)	30名【メール】【往復ハガキ】
⑮奥高尾 初冬の眺望を楽しむハイキング	12/3 (火)	11/19 (火)	40名(健脚向き)【メール】【HP】【QR】
⑯初冬の高尾主稜縦走～初冬の澄んだ空気の中、陣馬山から高尾山へ～	12/14 (土)	11/30 (土)	20名(健脚向き)【メール】【HP】【QR】
⑰水の華「シモバシラ」と富士山の展望を楽しむハイキング	1/7 (火)	12/24 (火)	40名【メール】【往復ハガキ】【HP】【QR】
⑱相模湖から小仏城山を経て高尾山へ真冬のハイキング	1/21 (火)	1/7 (火)	40名(健脚向き)【メール】【HP】【QR】
⑲魅力満載・冬の高尾山を歩く	2/4 (火)	1/21 (火)	40名【メール】【往復ハガキ】
⑳春の健康ハイキング～北高尾の森で春を探そう～	3/13 (木)	2/27 (木)	40名【メール】【HP】【QR】
㉑カタクリ・シュラン・ベニシダレザクラを訪ねる春風ハイキング	3/21 (金)	3/7 (金)	40名【メール】【往復ハガキ】
㉒高尾山 春の親子自然観察会	3/23 (日)	3/7 (金)	30名(親子)【メール】【HP】【QR】

- (注) 1. 直近の現地状況により、安全の確保などの理由で、イベント内容の一部を変更して実施することもあります。予めご承知おきください。
2. 提供して頂いた個人情報は適切に管理し、お申込み頂いたイベントの保険申請と、当会が実施する高尾森林ふれあい推進イベントに関わるご連絡やご案内で使用します。
3. ご参加のお申込みは、申込締切日より概ね2か月ほど前からして頂くよう、お願い致します。

【申込方法】

(1) イベント毎に記載した方法の何れかを選んでお申し込みください。それぞれの申込み方法の宛先等は以下の通りです。

【メール】：チラシ掲載の「お問い合わせ先」のメールアドレス

【往復はがき】：〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1 高尾森林ふれあい推進センター宛

【HP】：FITホームページ (<https://www.forest-instructor-tokyo.org>) に掲載する、イベント毎の申込みフォームより。

【QR】：チラシ掲載のQRコードからFITホームページの申込みフォームにつながります。

(2) いずれも場合も、i) イベント名、ii) 参加者全員の氏名(フリガナ)・年齢・性別、iii) 代表者の郵便番号、住所、電話番号(中止時など連絡先)、ご本人以外の緊急連絡先(電話番号)、メールアドレス、iv) このイベントを何でお知りになったかご記入下さい。

2. 特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部 理事長 横山信明

コース	イベント名	実施月日	募集期間	募集定員
T-1	高尾山の恵み観察と魚取り体験教室Ⅰ	8/10 (土)	6/10～7/10	60名(小学生30名・保護者30名)
T-2	高尾山の恵み観察と魚取り体験教室Ⅱ	8/11 (日)		60名(小学生30名・保護者30名)
T-3	山の恵みと昔からの染物体験教室	9/29 (日)	7/25～8/25	50名(小学生25名・保護者25名)
T-4	引っ付き虫探しウォーキングと丸太切り体験教室	10/27 (日)	8/30～9/27	50名(小学生25名・保護者25名)

【申込方法】(募集対象・参加費等詳しくは募集チラシをご確認下さい。)

①催し名/ご希望コース ②保護者を含む参加者全員のお名前/フリガナ ③性別 ④参加者全員の年齢 ⑤学校名 ⑥郵便番号 ⑦住所

⑧Eメールアドレス ⑨電話番号を明記し、なるべくEメールでご応募下さい。

特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部 Eメール: moritodenen@live.jp

住所: 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-17 星野ビル102 電話: 090-8085-8328 (横山宛)

【ご注意】☆Eメールでご応募の場合は、必ず森とでんえん倶楽部のEメールが受信できるように設定下さい。

☆T-1とT-2「高尾山の恵み観察と魚取り体験教室」はどちらも同じ催し内容です。どちらの日でも良い場合はその様にお申し込み下さい。

☆募集定員を越えた場合はお断りすることがございます。

3. 特定非営利活動法人 森と人のネットワーク 理事長 木村 諭

イベント名	実施月日	申込期限	募集定員
①自然観察会(Ⅰ)	5/18 (土)	5/4 (土)	40名
②自然観察会(Ⅱ)	6/15 (土)	6/1 (土)	40名
③自然観察会(Ⅲ)	7/15 (月)	6/29 (土)	40名
④自然観察会(Ⅳ)	9/15 (日)	8/31 (土)	40名
⑤自然観察会(Ⅴ)	10/19 (土)	10/5 (土)	40名

【申込方法】メールで、上記表のイベント名「高尾自然観察会(○)希望」と明記の上

① 参加者全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢(保険加入のため)
 ② 代表者の連絡先(携帯・自宅)・メールアドレスを記入の上、以下にお申し込み下さい。
 先着順の受付させていただきます。応募者が定員となり次第、締め切り前でも受付を終了いたします。

申込メールアドレス: morijin.network@gmail.com

4. 高尾パークボランティア会 代表 満部 浩一

イベント名	実施月日	募集期間	募集定員
①昆虫探偵団 オトシブミの不思議	5/19 (日)	4/1~4/30	20名(小学生とその保護者)
②秋の高尾山クイズウォーク	10/26 (土)	9/3~10/1	35名(小学生以下は保護者同伴)
③夜の高尾山でムササビ探し	12/7 (土)	10/15~ 11/15	25名(小学3年生以上と保護者)
④初めての野鳥観察	1/23 (木)	12/1~1/3	30名(一般)
⑤花のハイキング	3/19 (水)	2/1~2/21	30名(一般)

【申込方法】往復はがきに返信用宛名を明記の上

① 参加者全員の氏名(ふりがな)・年齢・性別
 ② 代表者の住所・電話番号(携帯・自宅)・メールアドレスを記入の上、以下にお申し込み下さい。
 ※ 応募者多数の場合は抽選となります。未就学児の参加はご遠慮ください。また、都合により中止することがあります。

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176 東京都高尾ビジターセンター内 「○○係」宛
 ※「○○係」には上記表のイベント名を明記してください。



森林インストラクター東京会



森とでんえん倶楽部



森と人のネットワーク



高尾パークボランティア会

編集後記

3月は寒い日が続き桜の開花も例年より遅くやきもきしていましたが、4月を前に急に暖かくなり、高尾の桜たちも慌てたのか一斉に開花しました。新年度がスタートしました。新たな気持ちで頑張ろうと思います。



ギョイコウ(桜)

Forest通信 NO.422

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail: ks_takao_postmaster@maff.go.jp

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html

